



ジオパーク活動は地域のSDGsの 担い手育成につながる！

- ジオパークは、世界遺産やSDGsと同様に、ユネスコが推進している国際的なプログラムである。
- 持続可能な経済発展には、社会がまず持続可能でなければならないし、持続可能な社会を実現するには、人が安全に暮らせる土台の地球環境を整え、社会や経済の課題を解決して価値を創造する。
- 2030年の地球と世界の姿を基準に、未来から今を見て、何が必要なのかをバックキャスティングで考える。

• 高等学校教育 de SDGs

茨城県立竹園高等学校では、SDGsの理解を深めるために総合的な探究の時間(探Q基礎)が実施されている。「自然と歴史・文化がおりなす筑波山地域を知り温暖化とSDGsを考える」というテーマで1年生を対象に2018年から講義を行っている。2021年3月に竹園高校SDGsカルタ制作委員会の生徒によって優しくわかりやすい英文のカルタが制作された。



- 温暖化と地球史の気候変動を混同させない。IPCC第6次評価報告書は、「温暖化は人間が生んだ気候危機」と断定。

- **納場保育園学童クラブの筑波山ジオツアー de SDGs**

- 筑波山は火山ではなく、恐竜の時代にマグマが地中で冷えて固まった岩石が、地上に隆起して地表に出て、雨や風によって削られて山ができた。山頂付近にブナ林が広がり、土は水を生み出し生き物を育む環境をつくっている。涼しい所で育つブナは温暖化の影響を受けやすい。



- **サイクルーズの霞ヶ浦湖上セミナー de SDGs**

- 船上から霞ヶ浦の成り立ちを体感し、自転車で水と自然・生態系を守る自然再生事業に取り組んでいる田村・沖宿・戸崎地区を訪れ、人と湖のつながり、湖岸環境と景観の保全・再生を体験して学ぶ。



- **イオンモールつくば「いばらきSDGsフェスタ」 de SDGs**

- 筑波山“見たまま”砂絵で地質図では、斑れい岩の巨礫と風化した花こう岩が大雨で土石流となって流れてできた山麓緩斜面、筑波山地域“場所”輪投クイズでは、土浦市レンコン栽培の泥と水、など大地の災いと恵みから自然や人、社会、地域を思いやる「**工**いきよを**シ**っかりと**カ**んがえ**ル**」を楽しく学ぶ。

